

## 様式第三十（第20条関係）

### 認定資源生産性革新計画の内容の公表

1. 認定をした年月日

平成23年2月10日

2. 認定事業者名 ハマダコンフエクト株式会社

3. 資源生産性革新計画の目標

(1) 資源生産性革新に係る事業の目標

ハマダコンフエクト株式会社は、クッキー、ウエハース、チョコレート及びタルト・パイカップを製造販売しており、菓子業界全体は少子高齢化による市場規模の縮小、健康志向等の差別化競争が激化しているものの、機能的食品でもある同社のクッキーとウエハースは、売上げが堅調に推移し、今後も成長が見込まれる。

これらの需要に対応すべく同社は新工場を建設し、新工場では、原材料搬入から製品出荷まで一貫したラインを組み上げ、既存工場に比べ生産性の向上と省エネルギー化を実現する。

(2) 資源生産性革新による資源生産性の向上の程度又はこれにより達成すべき資源生産性の水準を示す目標

① 計画の実施単位は、同社全体を対象とし、同社単独での実施。

② 目標年度（平成25年3月期）においては、基準年度（平成22年3月期）と比べてエネルギー生産性を19.6%向上させることを目標とする。

4. 認定資源生産性革新に係る資源生産性革新の内容

(1) 資源生産性革新に係る事業の内容

今回の新工場では、上記資源生産性の革新を行いつつ、クッキーとウエハースの製造事業を行う。

現在の日本社会では少子高齢化が進むとともに、生活習慣病が増加する一方、健康志向の高まりを受け、機能的食品である同社のクッキー・ウエハース製品のニーズはますます増加し、今後も需要が見込まれる。今回の新工場建設はこうした需要に対応するためのものである。

(2) 資源生産性革新を行う場所の住所

兵庫県姫路市飾磨区阿成下垣内1260

兵庫県加古川市尾上町池田850-68

(3) 関係事業者

なし

(4) 資源生産性革新を実施するための措置の内容

加古川工場において設備投資（クッキー・ウエハース製造設備及び一貫ラインシステム）を行い、生産効率を高める。

5. 資源生産性革新の開始時期及び終了時期

開始時期：平成23年2月

終了時期：平成25年3月

6. 資源生産性革新に伴う労務に関する事項

(1) 資源生産性革新の開始時期の従業員数（平成23年1月末）

323名

(2) 資源生産性革新の終了時期の従業員数（平成25年3月末）

323名

(3) 資源生産性革新に充てる予定の従業員数

160名

(4) (3)中、新規に採用される従業員数

0名

(5) 資源生産性革新に伴い出向又は解雇される従業員数

出向予定人員数 0名

転籍予定人員数 0名

解雇予定人員数 0名

別表

資源生産性革新の措置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
事業の分野若しくは方式の変更又は事業活動の効率化	<p>加古川工場において以下の設備投資を行い生産効率を高める。</p> <p>クッキー・ウエハース製造設備及び一貫ラインシステム</p> <p>実施する時期 平成23年2月～25年3月</p>	<p>租税特別措置法 第44条の3第2項及び第3項 (事業革新設備等の特別償却)</p>